

# コロナについてわかってきたこと

- 空気感染はない～特殊な例として、エアロゾル感染（合唱やカラオケなど）
  - すれ違ったくらいでは感染しない
- 発症後、他人にうつす期間は、1週間程度、それ以後は感染しない
  - 10日過ぎると、感染力はほとんどなくなる
- 若い人はほとんどが、軽症か無症状で経過
  - 入院治療の必要性はないでしょう（宿泊療養施設での療養でよいでしょう）
- 感染力がなくなっても、PCR検査は陽性になることが多い。
  - 治療後のPCR検査の陰性証明は意味がない
- 今後指定感染症からは外れる可能性があり
  - 現在、国で議論中
- 感染予防で最も効果があるのは、手洗いと手指消毒
  - アルコール消毒が効果的
- 感染3ヶ月後くらいには、再感染する可能性あり
  - すでに再感染した報告例もある

# 感染予防のために～避けてもらいたい場面

## 感染リスクが高まる「5つの場面」

### 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



### 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



### 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、居カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



### 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



### 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



今までの経過  
より  
新しく出された  
注意喚起  
です